

平成25年度第一回講演会

- * とき : 平成25年8月6日(火) 13:00～15:00
- * ところ : 新潟市中央区花園1丁目96-47 TEL025-246-2100
ホテルメッツ新潟 会議室A+B
- * 講師 : 東京大学 森川 博之教授
- * 演題 : ストーリーとしてのICT未来構築: 社会基盤としてのICT
- * 共済 : NPO新潟情報通信研究所
新潟大学工学部

コメント

- ・大きな会場が取れなくて、50名の会議室でしたが、森川先生も加えて67名の方から参加していただき、大盛況でした。
- ・いろんな視点からの話をしていただき、非常に興味深いものだったと、講演後NPOでお願いした、感想文で多数の方が述べておられました。Tks



会場はぎっしり満員でした



講師紹介

1987年東京大学工学部電子工学科卒業

1992年同大学院博士課程修了、工博

2006 年～東京大学教授，現在，東京大学先端科学技術研究センター教授

2002~2007年

情報通信研究機構横須賀無線通信研究センターモバイルネットワークグループリーダー(兼務)

ユビキタスネットワーク、センサネットワーク、ビッグデータ／M2M

無線通信システムなどの研究開発に従事

- ・新世代M2Mコンソーシアム会長, ICT実証フィールドコンソーシアム会長,
- ・OECD/ICCP副議長等. 総務省情報通信審議会, 情報通信行政・郵政行政審議会専門委員
- ・国土交通省交通審議会, 社会資本整備審議会, 国土審議会専門委員等.

楠木健教授の「ストーリーとしての競争戦略」のメッセージを一言でいえば、「優れた戦略とは思わず人に話したくなるような面白いストーリーであるべきだ」となる。国や企業の本当の戦略力は、成熟、衰退局面のときにこそ試される。研究開発も、同じではないだろうか。性能や効率などといった従来の定量的な評価軸のみならず、うならせることができるか、驚かせることができるか、魅力的か否かなどといった定性的な軸への転換を図っていくことも大切だろう。このような観点から、わかりやすいストーリーの一つが社会基盤としてのICTといった方向感であろう。都市、環境、農業、介護、交通、資源などのそれぞれの産業にICTを適用したうえで、産業構造、経済構造、社会構造の大きな変革を目指したものである。本講演では、「ストーリーとしての研究開発」の重要性を示すとともに、未来を創るためのICTのあり方を示す。

H25. 08. 06 NPO新潟情報通信研究所第一回講演会参加者												
		21	22	23	24	20代	30代	40代	50代	60up	合計	備考
学生		7	8	10	6						31	中野研究室／牧野研究室
教職(教授等)								3	7	2	12	
公務員							1	3		1	5	自治体
通信(キャリア)						1	5	2			8	固定系／移動系
通信(放送局)									1		1	
通信(構築工事)							1				1	
サービス							2	4			6	
自由業										2	2	事務方サポート担当
講師	1										1	
	1	7	8	10	6	1	9	12	8	5	67	
学生さん以外の年齢分布は若干の誤差があります。												ホテルメッツ会議室A+B